

## 平成25年3月定例会会議録（第4号）

平成25年3月8日 金曜日 午前10時00分開議

蒲 生 光 男 議 長      安 部      隆      副議長

### 出 席 議 員 （ 1 6 名 ）

1 番	赤 間 泰 広	議 員	2 番	梅 津 善 之	議 員
3 番	江 口 忠 博	議 員	4 番	今 泉 春 江	議 員
5 番	小 関 秀 一	議 員	6 番	竹 田 博 一	議 員
7 番	我 妻 昇	議 員	8 番	大 道 寺 信	議 員
9 番	町 田 義 昭	議 員	1 0 番	佐 々 木 謙 二	議 員
1 1 番	安 部 隆	議 員	1 2 番	洪 谷 佐 輔	議 員
1 3 番	高 橋 孝 夫	議 員	1 4 番	大 沼 久	議 員
1 5 番	小 関 勝 助	議 員	1 6 番	蒲 生 光 男	議 員

### 欠 席 議 員 （ 0 名 ）

### 説 明 の た め 出 席 し た 者

内 谷 重 治	市 長	新 野 潔	副 市 長
飯 澤 常 雄	総 務 課 長	平 英 一	財 政 課 長
遠 藤 健 司	企 画 調 整 課 長	青 木 邦 彦	税 務 課 長
宇 津 木 正 紀	市 民 課 長	松 木 幸 嗣	健 康 課 長
小 泉 良 一	福 祉 生 活 あ ん し ん 課 長	種 村 正 一	子 育 て 支 援 課 長
遠 藤 正 明	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	堀 越 俊 一 郎	監 査 委 員
加 藤 弘 二	教 育 委 員 長	加 藤 芳 秀	教 育 長
遠 藤 誠 一	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	鈴 木 榮 一	農 業 委 員 会 会 長
那 須 宗 一	農 林 課 長	中 井 晃	商 工 振 興 課 長
平 正 行	観 光 振 興 課 長	渡 部 政 明	建 設 課 長
浅 野 敏 明	ま ち ・ 住 ま い 整 備 課 長	鈴 木 要 一 郎	上 下 水 道 課 長
鈴 木 一 則	管 理 課 長	齋 藤 理 喜 夫	文 化 生 涯 学 習 課 長
佐 藤 孝 博	生 涯 ス ポ ー ツ 課 長	齋 藤 環 樹	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長
高 橋 徹	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長	児 玉 行 宏	監 査 委 員 事 務 局 長
孫 田 邦 彦	農 業 委 員 会 事 務 局 長	鈴 木 智	消 防 主 幹

## 事務局職員出席者

松本 弘 議会事務局長  
鈴木 和夫 議事調査係長  
寒河江 新一 補佐  
小川 由美 庶務係長

## 議事日程（第4号）

平成25年3月8日 金曜日 午前10時00分開議

日程第1 市政一般に関する質問

7番 我妻 昇 議員

6番 竹田 博一 議員

## 本日の会議に付した事件

議事日程（第4号）に同じ

## 開 議

○蒲生光男議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第4号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○蒲生光男議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

### 我妻 昇議員の質問

○蒲生光男議長 順位11番、議席番号7番、我妻昇議員。

(7番我妻 昇議員登壇)

○7番 我妻 昇議員 おはようございます。よろしく願いいたします。

振り返って考えてみますと私自身、昨年の3月定例会から丸1年間、観光振興について議論してまいりました。一般質問や予算総括で何度も同じようなことを繰り返し質問してまいりまして気づいたことは、自分は何てしつこい性格なんだろうかということにあります。懲りもせず、このたびも観光振興について質問させていただきますので、内谷市長にご答弁をお願いす

るものであります。

長井市には自慢すべき観光資源が数多くあると思っておりますが、観光地ですと胸を張って言えるような状態ではありません。でも、これからは観光を産業化させたい、観光で雇用創出を図りたい、観光で中心市街地活性化を目指すという強いリーダーシップを持って内谷市長は長井市を牽引しようとしておられます。

私は、この考え方は理解できますし、ぜひしっかりと取り組んでほしいと思っております。しかしながら、冷静に考えますと長井市にだけ観光客が訪れるということはまずあり得ないのではないかと、観光客を呼びたいのならば、少なくとも置賜3市5町との緊密で戦略的な連携が絶対条件ではないかと思えてくるのであります。お客様をとり合うのではなく、共有するような考え方に立たないといけないのではないのでしょうか。

ですが、この1年間の観光振興にかかわる議論を思い返したとき、このことについてはほとんど語られてこなかったように感じております。

今、策定委員の皆様が観光振興計画の作成にご尽力をいただいておりますが、広域連携についてどのように盛り込まれていくものなのか、お聞かせください。

また、現時点で内谷市長は、それぞれの市長、町長と広域連携についてどれだけの意思疎通を図っておられるものかもお聞きするものであります。

平成25年度は、翌26年度のデスティネーションキャンペーンのプレキャンペーンの年であると聞いております。6月のあやめまつりころから本格的に取り組むことになるだろうと思いますが、首長同士、行政同士の連携はもちろんのこと、観光協会や市民レベルの連携に発展させる絶好のチャンスではないかと思っております。これまでのような花回廊だけの緩やかな連携にとどまらず、通年型の10年、20年先を見越した